

令和5年度（2023年度）第1回函館市地球温暖化対策地域推進協議会 会議概要

- 1 日時 令和5年（2023年）5月26日（金）午後2時～3時20分
  - 2 場所 函館市役所本庁舎8階大会議室
  - 3 出席者 委員（15人）  
松崎静江委員，佐々木香委員，畠山晴一委員，小林裕司委員，渡部浩典委員，  
砂原壮吉委員，須賀昌昭委員，渡谷能孝委員，渡邊秀雄委員，畠山大委員，  
阿部泰人委員，福尾瞳委員，池田誠委員，宮川真人委員（代理本田係長），  
田中修一委員  
事務局（5人）  
事務局長 山下乾（環境部環境総務課長）  
事務局員 館澤裕次（同課主査），福田誠（同課主査），  
高島一輝（同課主事），高木雄登（同課主事）
  - 4 傍聴者 なし（随行者1人（渡島総合振興局保健環境部環境生活課））
  - 5 発言要旨
    - (1) 開会  
(事務局)
      - ・ 名簿順に出席委員の紹介
      - ・ 事務局長から事務局員の紹介
      - ・ 資料の確認
      - ・ 会長選出までの間，事務局で議事進行する旨の確認 委員：了承
    - (2) 議事
      - ア 会長・副会長の選出
        - ・ 事務局から「会長：池田誠委員，副会長：佐々木香委員」を提案
        - ・ 全会一致の承認を得て会長：池田誠委員，副会長：佐々木香委員を選出
- 挨拶  
(池田会長)  
北海道温暖化防止活動推進員の池田です。よろしくお願ひします。  
(佐々木副会長)  
函館市女性会議の佐々木です。よろしくお願ひします。
- (池田会長)  
それでは議事をはじめます。  
本日の会議では，昨年度の事業報告や，今年度の事業計画について，報告あるいは提案がございますので，いろいろとご意見をいただければと思いますので，よろしくお願ひいたします。  
本日の終了予定時刻は，午後3時半を予定しておりますので，議論をしながらも，なるべく予定時刻までに終われるようにしていきたいと思ひます。  
それでは議題に入りたいと思ひます。
- イ 協議会規約の改正について  
事務局から「資料1-1 函館市地球温暖化対策地域推進協議会規約」および「資料1-2 新旧対照表」により報告  
※ 委員：意見なし

- ウ 令和4年度（2022年度）事業報告について  
事務局から「資料2-1 令和4年度（2022年度）事業報告について（報告）」  
および「資料2-2 令和4年度（2022年度）はこだてスマートムーブデーの実  
施状況について（報告）」により報告  
（渡部委員）
- ・ 事業が始まった一昨年に、バスに取り付ける幕を3枚用意し、昨年は4枚追加  
して合計7枚で毎月運行している。市民からの問い合わせもあり、非常に目を引  
いていると感じる。引き続き協力していきたい。
- エ 函館市の温室効果ガスの排出状況について  
事務局から「資料3 2019（令和元）年度函館市の温室効果ガスの排出状況について  
（報告）」により報告  
※ 委員：意見なし
- オ 令和5年度（2023年度）事業計画（案）について  
事務局から「資料4-1 令和5年度（2023年度）事業計画（案）について」、  
「資料4-2 新たな事業の検討に係る提案の募集について（依頼）」および「資料  
4-3 令和5年度（2023年度）はこだてスマートムーブデー事業（案）につい  
て」により説明  
（松崎委員）
- ・ 資料としてはよくできているが、一般市民に伝わるように意識してほしい。
- （事務局）
- ・ ご意見として受け止め、今後の資料作成などに可能な範囲で反映させていき  
たい。
- （須賀委員）
- ・ 計画（案）自体については賛成だが、スマートムーブデーの車を使わないで公  
共交通機関を利用する、若しくは歩くとか自転車に乗るといった取り組みは、個  
人の意識による行動になると思う。事業者の立場でも従業員に対して啓発してい  
きたいと思うし、市としてもこれまで以上に啓蒙していただきたい。地球温暖化  
対策に近道はないと思う。個々の意識を醸成させるような動きが大事だと感じる。
  - ・ 事業者として、昨年度、ガス代が高くて申し訳ないと思っている。なぜ、ガス  
代が高いのかというと、天然ガスは、電力会社が大口の購入先になる。その電力  
会社がウクライナ情勢の不安からスポットで天然ガスを大量に購入した。その影  
響を受け、ガス代も上がった。電力会社が悪いように聞こえるかもしれないが、  
電力会社は安定供給のために高い天然ガスをスポットで購入したということであ  
る。見通しについては、2023年度の天然ガスはいくぶん安定する見込みである。  
次年度以降、電気の方も省CO<sub>2</sub>化ということで、再生可能エネルギーを作らない  
と国にペナルティを払うような仕組みになっている。太陽光発電を年間100か所程  
度設置する状況になっているので、良い土地やエネルギー活用方法などあれば、  
知見をいただきたいと思う。
- （渡部委員）
- ・ スマートムーブデー事業の街頭啓発活動について、新規の取組として電車の無  
料運行とあるが、交通部の提供によるものなのか。また、広報方法や無料運行の  
時間帯はいつ頃を考えているのか。
- （事務局）
- ・ 市電の無料運行については、環境部から交通部に料金を支払い、実施したいと  
考えている。また、通勤、退勤の時間帯に合わせての運行を想定している。広報

については、市政はこだてなどを活用していきたいと考えている。

(畠山(大)委員)

- ・ 資料4-2の新たな事業の検討に係る提案の募集について、大体の事業費の規模はどのくらいか。

(事務局)

- ・ 事業費については、現段階では、特に制限を設けていないが、事業の中身については、本協議会の規約にある普及啓発、情報提供などに関するをお願いしたいと考えている。

(畠山(大)委員)

- ・ 学内の教職員や学生に対してアイデアを問いかけたいと思ったが、事業費の目安がないと、呼びかけてもまったく反応がないと思うので、これまでの前例でも構わないので教えていただければ、組織の中でも呼びかけやすくなるのかなと思う。

(池田会長)

- ・ たくさん出てきた場合はどうするのか。採用するものと採用しないものが出てくると考えていいか。

(事務局)

- ・ 提案していただいたものを一定程度事務局で精査した後、委員の皆様にお諮りしたいと考えている。

(畠山(大)委員)

- ・ 予算というか大枠があって、その中で、いくつか出てきたら分けるとか、ある程度一本化するとか、一つの事業費がこれ位というのがないと、アイデアの出しようがない。上限がないと言われると、いくらでも夢が膨らんでしまう。前例でもいいので、何かを示していただかないと、募集と言われても困ると思う。

(事務局)

- ・ 対応を検討させていただく。

(小林委員)

- ・ この提案事業については、普及啓発事業に特化したものなのか。産官学を巻き込んだ大きな事業でもよろしいか。

(事務局)

- ・ 協議会の活用内容として、主に普及啓発や情報提供に関することとしているので、その方向性に沿っていただければと思うが、必ずしも制約するものではない。

(小林委員)

- ・ それであれば、普及啓発事業に限ったものであるという認識でよろしいか。

(事務局)

- ・ 普及啓発や情報の提供となっているので、そういう方向性で進めていただきたい。

(小林委員)

- ・ はっきりしていただかないと、アイデアの提案が出しづらいと思う。特化するなら特化するでもいいので、はっきりとした見解を示していただきたい。例えば、省エネや脱炭素に関する事業を産官学でやりたいといったことがOKだということであれば変わってくるが、普及啓発事業に限るということでもいいのか。

(池田会長)

- ・ もう少し情報をもらわないと、大学や企業などで呼びかけるにしても、動きにくいということなので、後日、事務局から回答ということでもよろしいか。

(事務局)

- ・ そのようにさせていただく。

(池田会長)

- ・ スマートムーブデーが部会から外れたが、街頭啓発活動の実施場所の候補について、これまでの実施場所なども含めて、事務局から説明いただきたい。

(事務局)

- ・ 令和3年度は本町交差点、令和4年度は美原3丁目交差点で実施し、このほか、これまで意見をいただいた場所として、函館駅前、万代こ線橋交差点がある。今年度は、事務局としては、まだ実施していない函館駅前かどうかを考えている。

(池田会長)

- ・ 今年度の実施場所は、まだ実施していない函館駅前かどうか。

※ 委員：異議なし

(阿部委員)

- ・ 資料4-2に、函館市はゼロカーボンシティの実現に向けて2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指し各種施策を実施することを表明とあるが、ゼロカーボンを目指すというのは、全国的に見たときに、先駆けとなっているのか。それとも、他の街が取組をしているから足並みを揃えるものなのか。函館市がどれだけ本気で取り組むのかにも関わってくると思う。

(事務局)

- ・ ゼロカーボンに向けての取組については、国が2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指すことを宣言し、その後、法律の改正や計画の改定などが進められた。本市でも新たな第2次函館市地球温暖化対策実行計画を策定したが、国や北海道の計画などと整合、連携を図ることとしており、長期目標としてゼロカーボンシティはこだでの実現を掲げている。

(阿部委員)

- ・ 函館市が全国唯一のゼロカーボンシティを目指す街ではなく、国や北海道などと足並みを揃えたと捉えていいか。

(小林委員)

- ・ 2050年までにゼロカーボンを実践できる自治体は限られていて、脱炭素先行地域に採択されている市町村については可能だと思うが、函館市は脱炭素先行地域ではないので無理だと思う。

(池田会長)

- ・ ゼロカーボンシティを目指していかなければならないと思うが、新規の提案事業の規模感を事務局から示していただければと思う。

(砂原委員)

- ・ 簡単に電気自動車にしたらいいいというのが最近の風潮だが、運送業界としては、電気自動車にすると、バッテリーの重さにより積載総重量が減ってしまい、2台で運んでいたものが3台になる。その分、運賃が高くなる。なおかつ、走行距離の問題がある。その辺をクリアしていかなければならない。全国トラック協会と国交省で協議をしているが、補助金をもらわないとできないだろう。当面は2024年問題をどのように対応していくかという状況だったので、よろしく願いしたい。
- ・ 提案だが、大人の世界で排ガスの規制や地球温暖化の対策となっているが、学校から子供たちを育てていかなければ、ゼロカーボンへの到達は難しいと思う。20年くらい前に、「夜景の日」というのがあった。家のカーテン開けて、函館山からの夜景をきれいに見せましょうという取組だが、親は子供に言われればやる。ノーマイカーなども子供を巻き込んで啓発していくのが、身近なところからできるのではないか。会社だと、どうしても上から目線になるが、家庭内だと手っ取り早くできる気がする。

(佐々木副会長)

- ・ 例年、11月にGスクエアで開催しているイベントには、どのくらいのお客さんが来ているのか。

(事務局)

- ・ 期間中の来場者数は3,879人である。期間中は3階以下にクイズラリーのパネルを展示し、会場となる4階への誘導を促した。

(小林委員)

- ・ スマートムーブデーだが、毎月第1金曜日に恒常的に実施しているのか。

(事務局)

- ・ 令和3年9月から実施しているが、毎月第1金曜日を実施日として行っている。

(小林委員)

- ・ 市政はこだてには、毎月、掲載されているのか。

(事務局)

- ・ 市政はこだてには、掲載スペースの関係で、毎月の掲載はしてないが、参加団体へのメール、市の公式LINEでは、毎月、広報している。

(小林委員)

- ・ 広報として、ちょっと弱いと思う。恒常的に毎月実施しているのであれば、恒常的に発信できる情報源を皆さんの意見を踏まえて考えた方がいいと思う。

(池田会長)

- ・ ご意見をいただいたので、これは取り組んでいただければと思う。

(松崎委員)

- ・ 資料を見て、委員の皆さんは理解していると思うが、市民に理解をいただかなければならないと思う。これから、一市民に伝えるという方向性を持って取り組んでいただきたいと思う。地球温暖化という言葉は浸透してきた感があるので、理解をしていただく取組をお願いしたい。

(福尾委員)

- ・ スマートムーブデーの街頭啓発について、昨年度の報告を見ると10月7日(金)の第1金曜日に実施している。街頭で周知するのであれば、その日は車に乗っていることになる。前日に活動して明日はノーマイカー、スマートムーブデーという活動をしないと、市民の皆さんに浸透しないのではないかと。当日に活動することに、もちろん意味があると思うが、当日より前ではないと声掛けにはならないのかなと思う。

(事務局)

- ・ 事前の周知ということだが、先ほど説明した構成団体へのメールや市の公式LINEによる周知については、第1金曜日が近づいてきた段階でお知らせしている。

(渡谷委員)

- ・ 委員の皆さんの声を函館市は市民の方に届けていただきたいと思う。それと、さきほどからノーマイカーの話がでていますが、スマートムーブではエコドライブも入っている、ただ、市民の方も、それを知らないと思う。街頭啓発に昨年、参加させていただいたが、スマートムーブと書いてあるだけで、市民の方は何をやるんだとなる。テレワークなど車を使わない取組もあるが燃費を抑えて運転するエコドライブという取組もある。2050年ゼロカーボンシティというものもあるが、もう少し、市民に寄り添った、市民がライフスタイルから参加できることを、訴えかけていった方がいいのかなと思う。

(渡部委員)

- ・ スマートムーブの周知の件だが、バスへの幕の掲示は火曜日頃から実施日の3日後程度まで実施している。

(池田会長)

- ・ 他に意見がなければ、事業計画（案）について、後日事務局から連絡する部分も残っているが、承認ということによろしいか。

※ 委員：異議なし

カ はこだてスマートムーブデー優秀団体の表彰について

事務局から「資料5 はこだてスマートムーブデー優秀団体の表彰について（報告）」により報告

※ 委員：意見なし

キ その他

(池田会長)

- ・ 事務局から何かありますか。

(事務局)

- ・ 本日承認いただいた令和5年度の活動については、皆さまからいただいたご意見を十分配慮し行っていくので、ご協力をお願いいたします。また、新たな事業を検討するための部会に係る構成員の指名については、改めてお知らせする。なお、事業提案については、本日いただいた質問等に対する回答を後日送るので、提出をお願いします。

(池田会長)

- ・ たくさんご意見をいただきまして、ありがとうございます。以上をもちまして、本日の協議会を終了します。委員の皆様長時間にわたり、ありがとうございます。

(3) 閉会